

令和4年度 公益社団法人 生頼範義記念みやざき文化推進協会
総会 式次第

日時：2022年5月25（水）16時から17時30分まで

場所：みやざきアートセンター

1 開 会

2 開会あいさつ

3 議 事

- (1) 令和3年度 事業報告（案）について
- (2) 令和3年度決算見込み（案）について
- (3) 令和4年度 事業計画（案）について
- (4) 令和4年度収支予算（案）について
- (5) 宮崎市への作品の寄託に関する件
- (6) その他

4 閉会

第一号議案 令和3年度（2021年度）事業報告書（案）

第7回理事会 議決

令和3年度（2021年度）

事業報告書（案）

2021年4月1日から
2022年3月31日まで

一般社団法人 生頼範義記念 みやざき文化推進協会

はじめに

【環境認識】

新型コロナウイルスの感染拡大が世界中に拡大し 2 年目を迎え、これまでの社会の価値観が大きく変わろうとしている。外出することが奨励されない状況の中、当初、文化芸術に対しては不要不急の対象として認識されていたが、多くの市民が在宅を迫られる中、芸術文化の需要は新たなニーズを開拓しつつある。

また今年度は、ロシアのウクライナ侵攻という 21 世紀に初めて世界規模で直面する戦争行為も勃発しており、将来に対する不安感を多くの市民が敏感に感じ取っている。

宮崎県内でいえば、令和 2 年度に開催が予定されていた「第 35 回国民文化祭・みやざき／第 20 回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会」が新型コロナウイルスの影響で 1 年間延期され 2022 年 10 月に終了したが、このイベントの遺産を如何にして後世に残していくか暗中模索しており、地方都市で職業として文化・芸術に携わる若年層が活躍する場の創出の限界が顕在化され、宮崎県という地方都市での文化・芸術に携わる人材の育成の場、環境づくりが喫緊の課題として挙げられている。宮崎県民に対する文化・芸術への意識の醸成、また文化・芸術に関する人材のネットワーク化が計画されており、前出の課題の解決に向けた取り組みを実現する契機となる年となるであろう。

令和 2 年度に一般社団法人から公益社団として新たな活動を開始した当法人は、芸術文化の普及及び人材育成に努め、より広く活動の幅を広めていくことは時代に即したものであることを自負し「民間による自発的な文化・芸術活動」を推進し「魅力ある地域社会を創造する」ことを念頭におき、民間公益活動の質と量を高めていくことが重要であると認識している。

以上の環境認識のもと、令和 4 年度事業計画は、故・生頼範義氏が遺したイラスト、絵画作品を活用し、宮崎県内での文化・芸術に対する県民の意識の醸成及び、文化・芸術に携わる人材育成を柱に諸施策を達成するためのポスト・コロナの活動として位置づけるものである。

【基本方針】

故・生頼範義氏が遺したイラスト及び絵画作品を保存・保管に努めると共に、宮崎県内での展示会等を企画し、文化・芸術に携わる若手の人材育成と県民の文化に対する意識の醸成を企図することで、地域社会の発展に寄与することを目的として令和4年度も次の3項目を軸に事業計画を策定する。

- 1) 展覧会の開催、常設の展示会場の設置実現に向けての計画策定
- 2) 故・生頼範義氏の作品・約3,000点の保存及び調査研究
- 3) 若手アーティスト育成のための支援

【令和3年度事業報告】

基本方針に基づき、宮崎県の芸術・文化を取り巻く環境変化・課題を適切にとらえつつ、以下の具体的活動を積極的に推進した。

- 1) 展覧会の開催、常設の展示会場の設置・実現に向けての計画策定
 - ・年1回1カ月程度の展覧会の開催
 - ・常設展示会場の設置に向けての調査研究、提言活動
 - ・宮崎県内からの生頼作品に関する情報の発信
- 2) 故・生頼範義氏の作品・約3,000点の保存及び調査研究
 - ・故・生頼範義氏が遺したイラスト及び絵画作品の製作年度の調査
 - ・イラスト及び絵画作品の製作目的の解明
 - ・イラスト及び絵画作品の保管場所の確保に対する議論を深め、実現に向けて関係機関への提案を行った。
 - ・常設の展示会場設置に向けて議論を深め、実現に向けて関係機関への提案を行った。
- 3) 若手アーティスト育成のための支援
 - ・芸術文化のさらなる普及を目指し第2回「生頼範義賞」を実施。その準備及び関係機関との連携を図って事業実施に取り組んだ。

第一号議案 令和3年度（2021年度）事業報告書（案）

- ・将来のアーティストと成りえる人材の育成に係る課題と取組について議論を深めた。

「事業実施内容」

〈公益事業〉

1. 故・生頼範義氏の遺した作品の普及・啓発を目的とし、展覧会を企画すると共に、常設展示会場の設置に関する事業（公1）

（1）展覧会「生頼範義展（公1－①）」

2022年12月に東京青梅市の「吉川英治記念館」において「生頼範義展」開催に向けての準備・打ち合わせを行った。

2021年12月19日（日） 現地を訪問（事務局・石田、長岡、生頼太郎氏）
展示予定の現状確認とスケジュールの調整を行った。

（2）常設展示場設置の計画策定（公1－②）

生頼作品が日常の中でいつでも見られるような環境を創造するため、宮崎県内に常設展示場を設置するための計画策定に着手し、関係機関と調整のうえ、必要であれば関係機関に提案し実現に向けての活動を行った。

【取組み状況】

宮崎市文化・市民活動課と調整中。令和4年4月以降に、生頼氏が遺した油絵約200点程度を、宮崎市と当法人の契約後、新たに改装した「蓮ヶ池歴史資料館跡地」の収蔵施設に移設予定。

その他、宮崎県みやざき文化振興課と協議中

2. 故・生頼範義氏の遺した作品の保存及び調査研究に関する事業（公2）

（1）生頼範義作品の調査研究（公2－①）

現在、故・生頼範義氏のアトリエに保管されているイラスト・及び絵画作品の詳細（制作年度、制作の目的、画材等）を調査し後世に遺していく資料として整備するための調査研究を行う。

第一号議案 令和3年度（2021年度）事業報告書（案）

（2）生頼作品保存のための施設設置の計画策定（公2－②）

前項の作品を保存、保管していくための施設を確保するための計画策定に着手し、関係機関と調整、必要であれば関係機関に提案し実現に向けての活動を行う。

3. 若手アーティスト育成のための支援に関する事業（公3）

（1）「生頼範義賞」の創設（公3－①）

芸術文化のさらなる普及を目指し、「生頼範義賞」を創設し、受賞者発表会等を開催し若手アーティストとイラスト分野における産業との幅広い連携を図る契機とする。（公1－①）の展覧会の開催と連動し実施した。

●日 時：令和3年11月7日（土） 9：00～10：30

●会場：みやざきアートセンター5階 ロビー

●列席者：

[主催] みやざきアートセンター センター長 長岡 政己

生頼範義賞審査委員会 審査委員長 石川千佳子 氏・審査員 オーライ タロー 氏

特別協賛 大久保昇 株式会社内田洋行代表取締役社長 井手理事

[受賞者] 一般部門 大賞1名

大橋孔明氏（東京都在住）

●動 員：計25名

<内訳> 登壇者1名、協賛・後援・プレイガイド4名、報道関係10名、法人関係者

第一号議案 令和3年度（2021年度）事業報告書（案）

●企画目的：

令和2年度に引き続き、生頼範義賞を開催した。宮崎市美術展と連動し、美術展の展示の中で生頼範義賞の展示スペースを設置することで来場者の増員を図った。この賞が広く社会に対して認知されることで、故・生頼範義の功績を広く知らしめること、また次世代のアーティストの発掘を目的として開催した、

●成 果：

コロナ禍のなか、審査員・受賞者とも無事に県外から出席でき、登壇者を欠くことなく開催できた。昨年は大賞が選出されなかったが、今年度は審査員全員一致で大賞受賞者が決定した。また今年度から、特別協賛社として株式会社内田洋行から協賛スポンサーを取り付けた。

●反 省：

昨年度の倍近くの応募者があり、応募作品のレベルもアップしてきたが、アマチュアとプロの区別の曖昧さ等、募集要項の改変を検討することが審査員からも提案された。

●内 容：

[実施状況（スケジュール）]

前日～9：15 会場設営、備品準備、スタッフリハーサル

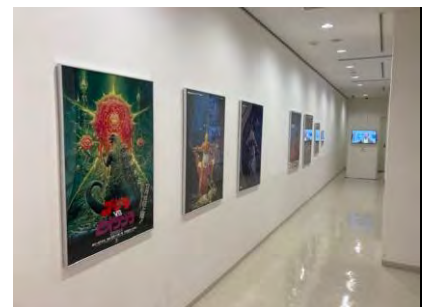
第一号議案 令和3年度（2021年度）事業報告書（案）

9：30 スタッフスタンバイ、来賓等受付開始

10：00～10:30 表彰式 開始、終了

[使用した道具など] 音響機器、マイク、司会台、毛氈、造花、メッシュいす、賞状盆

[記録写真]



（２）若手アーティスト育成の場となるよう他団体(出版者、NPO 等)との連携

により、将来のイラストレーター、画家を目指す人材の育成に関わる事業として生頼賞と連携して早川書房の出版する書籍の表紙として大賞受賞者の作品が採用されるようコーディネートを行った。（公３－②）

●日 時：令和3年12月19日（土）11:00～12:00

●会 場：株式会社 早川書房

●対応者:塩沢氏（早川書房）ほか1名

●コーディネートの内容：第3回生頼賞の大賞受賞者・大橋孔明氏の作品を、早川書房から発刊される書籍の装丁画として使用するよう協議。予定では令和4年4月に発売予定の「SFマガジン6

第一号議案 令和3年度（2021年度）事業報告書（案）

月号」の表紙を飾るようになった。

また来年度以降も継続して生頼賞とのタイアップを行うことを確認した。当法人からは事務局から石田、長岡、そして生頼太郎氏が協議に参加した。

〈その他事業〉

4. 関連商品の製作・販売（他1）

（1）複製原画等の製作・販売に関する事業（公4－①）

公益事業を展開するための事業費を捻出するため、生頼家の許諾を得て生頼氏の作品の中からセレクトしたものの図録、複製原画等を作製し販売した。

宮崎市のふるさと納税の返礼品での現在、宮崎市の担当課が変更になったため、販売活動を休止中しており、令和4年度中には復活するよう協議を行っている。

貸借対照表(案)

一般社団法人 生頼範義記念みやざき文化推進協会

令和3年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【4,716,754】	【流 動 負 債】	【146,900】
現金・預金	4,716,754	未 払 金 等	38,200
		未払法人税等	108,700
		負 債 合 計	146,900
		純 資 産 の 部	
		【株 主 資 本】	【4,569,854】
		[出資金受入金]	2,000,000
		[利益剰余金]	2,569,854
		(その他利益剰余金)	2,569,854
		繰越利益剰余金	2,569,854
		(うち当期純利益)	1,413,093
		純 資 産 合 計	4,569,854
	4,716,754	負債・純資産合計	4,716,754

第二号議案

令和3年度(2021年度)収支決算書
2021年4月1日 ~ 2022年3月31日
公益社団法人 生頼範義記念みやざき文化推進協会

(単位:円)

	公益目的事業 会計	法人会計	令和3年度 (予算)	令和3度 (決算)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1
					公1	公2	公3	共通	
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
① 基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
② 特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③ 受取会費	300,000	0	300,000	0	0	0	0	0	0
正会員受取会費			0	0					
賛助会員受取会費	300,000		300,000	0					
名誉会員受取会費			0	0					
④ 事業収益	650,000	200,000	850,000	233,389	0	36,680	0	0	233,389
(公1) 博物館事業	300,000		300,000	0					
(公2) 表彰事業	300,000		300,000			36,680			
(公3) 学習会開催事業	50,000		50,000	0					
収益事業		200,000	200,000	0					
			0	110,000					110,000
			0	123,389					123,389
			0	0					
			0	0					
⑤ 受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥ 受取負担金	500,000	0	500,000	0	0	0	0	0	0
	500,000		500,000	0					
⑦ 受取寄付金	0	0	0	2,500,000	0	2,500,000	0	0	0
			0	2,500,000		2,500,000			
⑧ 雑収入	0	10	10	52	0	0	0	14,100	52
雑収入		10	10					14,100	
受取利息			0	52					52
			0	0					
経常収益計	1,450,000	200,010	1,650,010	2,733,441	0	2,536,680	0	14,100	233,441

(単位:円)

	公益目的事業 会計	法人会計	令和3年度 (予算)	令和3度 (決算)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1
					公1	公2	公3	共通	
(2)経常費用									
事業費	1,435,000	100,000	1,535,000	1,211,648	202,338	919,790	0	89,520	0
仕入(事業費)	130,000		130,000	460,000		460,000			
人件費		100,000	100,000	0					
福利厚生費			0	29,000				29,000	
広告宣伝費	30,000		30,000	0					
運賃	200,000		200,000	105,630	73,890	31,740			
旅費交通費			0	215,700	115,080	100,620			
交際費			0	39,904	12,670	27,234			
車両費			0	0					
通信費	30,000		30,000	3,110		3,110			
消耗品費	30,000		30,000	52,816		52,816			
印刷製本費	30,000		30,000	72,815		72,815			
事務用消耗品費	30,000		30,000	0					
諸謝金	500,000		500,000	171,455		171,455			
支払手数料	5,000		5,000	7,520				7,520	
新聞図書費	30,000		30,000	698	698				
広告宣伝費	200,000		200,000	0					
租税公課			0	0					
外注費	200,000		200,000	53,000				53,000	
資料購入費	10,000		10,000	0					
雑費	10,000		10,000	0					
			0	0					
			0	0					
			0	0					
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
役員報酬			0	0					
給与手当			0	0					
臨時雇賃金			0	0					
退職給付費用			0	0					
			0	0					
経常費用計	1,435,000	100,000	1,535,000	1,211,648	202,338	919,790	0	89,520	0

	公益目的事業 会計	法人会計	令和3年度 (予算)	令和3度 (決算)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1
					公1	公2	公3	共通	
評価損益等調整前当期経常増減額	15,000	100,010	115,010	1,521,793	(202,338)	1,616,890	0	0	0
基本財産評価損益等									
特定資産評価損益等									
投資有価証券評価損益等									
評価損益等計									
当期経常増減額	15,000	100,010	115,010	1,521,793	(202,338)	1,616,890	0	0	0
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
固定資産売却益			0						
雑収入			0						
受取利息			0						
			0						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
固定資産売却損			0						
			0						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	15,000	100,010	115,010	1,521,793	(202,338)	1,616,890	0	0	0
法人税・住民税・事業税			0	108,700					
当期一般正味財産増減額	15,000	100,010	115,010	1,413,093	(202,338)	1,616,890	0	0	
一般正味財産期首残高			3,322,011	3,156,761					
一般正味財産期末残高			3,156,761	4,678,554					
Ⅱ 指定正味財産増減の部									
受取補助金等									
一般正味財産への振替額									
当期指定財産増減額			0	0					
指定正味財産期首額			0	0					
指定正味財産期末額			0	0					
Ⅲ 正味財産期末残高			3,156,761	4,678,554					

第三号議案 令和4年度（2022年度）事業計画書（案）

第8回理事会 議決

令和4年度（2022年度）

事業計画書（案）

2022年4月1日から
2024年3月31日まで

公益社団法人 生頼範義記念 みやざき文化推進協会

はじめに

【環境認識】

新型コロナウイルスの感染拡大が世界中に拡大し 2 年目を迎え、これまでの社会の価値観が大きく変わろうとしている。外出することが奨励されない状況の中、当初、文化芸術に対しては不要不急の対象として認識されていたが、多くの市民が在宅を迫られる中、芸術文化の需要は新たなニーズを開拓しつつある。

また今年度は、ロシアのウクライナ侵攻という 21 世紀に初めて世界規模で直面する戦争行為も勃発しており、将来に対する不安感を多くの市民が敏感に感じ取っている。

宮崎県内でいえば、令和 2 年度に開催が予定されていた「第 35 回国民文化祭・みやざき／第 20 回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会」がコロナウィルスの影響で 1 年間延期され 2022 年 10 月に終了したが、このイベントの遺産を如何にして後世に残していくか暗中模索しており、地方都市で職業として文化・芸術に携わる若年層が活躍する場の創出の限界が顕在化され、宮崎県という地方都市での文化・芸術に携わる人材の育成の場、環境づくりが喫緊の課題として挙げられている。宮崎県民に対する文化・芸術への意識の醸成、また文化・芸術に関する人材のネットワーク化が計画されており、前出の課題の解決に向けた取り組みを実現する契機となる年となるであろう。

令和 2 年度に一般社団法人から公益社団として新たな活動を開始した当法人は、芸術文化の普及及び人材育成に努め、より広く活動の幅を広めていくことは時代に即したものであることを自負し「民間による自発的な文化・芸術活動」を推進し「魅力ある地域社会を創造する」ことを念頭におき、民間公益活動の質と量を高めていくことが重要であると認識している。

以上の環境認識のもと、令和 4 年度事業計画は、故・生頼範義氏が遺したイラスト、絵画作品を活用し、宮崎県内での文化・芸術に対する県民の意識の醸成及び、文化・芸術に携わる人材育成を柱に諸施策を達成するためのポスト・コロナの活動として位置づけるものである。

【基本方針】

故・生頼範義氏が遺したイラスト及び絵画作品を保存・保管に努めると共に、宮崎県内での展示会等を企画し、文化・芸術に携わる若手の人材育成と県民の文化に対する意識の醸成を企図することで、地域社会の発展に寄与することを目的として令和2年度は次の3項目を軸に事業計画を策定する。

- 1) 展覧会の開催、常設の展示会場の設置実現に向けての計画策定
- 2) 故・生頼範義氏の作品・約3,000点の保存及び調査研究
- 3) 若手アーティスト育成のための支援

【令和4年度事業方針】

基本方針に基づき、宮崎県の芸術・文化を取り巻く環境変化・課題を適切にとらえつつ、以下の具体的活動を積極的に推進する。

- 1) 展覧会の開催、常設の展示会場の設置・実現に向けての計画策定
 - ・年1回1カ月程度の展覧会の開催
 - ・常設展示会場の設置に向けての調査研究、提言活動
 - ・宮崎県内からの生頼作品に関する情報の発信
- 2) 故・生頼範義氏の作品・約3,000点の保存及び調査研究
 - ・故・生頼範義氏が遺したイラスト及び絵画作品の製作年度の調査
 - ・イラスト及び絵画作品の製作目的の解明
 - ・イラスト及び絵画作品の保管場所の確保に対する議論を深め、実現に向けて関係機関への提案を行う
 - ・常設の展示会場設置に向けて議論を深め、実現に向けて関係機関への提案を行う

3) 若手アーティスト育成のための支援

- ・芸術文化のさらなる普及を目指し「生頼範義賞」を継続して実施するための準備及び関係機関との連携を図る
- ・将来のアーティストと成りえる人材の育成に係る課題と取組について議論を深める

「事業実施内容」

〈公益事業〉

1. 故・生頼範義氏の遺した作品の普及・啓発を目的とし、展覧会を開催するための企画を行うと共に、常設展示会場の設置に関する事業（公1）
 - （1）展覧会開催のための企画案策定（公1－③）

コロナ禍の中でも対応可能な展覧会企画案の策定を行う。
 - （2）常設展示場設置の計画策定（公1－①）

生頼作品が日常の中でいつでも見られるような環境を創造するため、宮崎県内に常設展示場を設置するための計画策定に着手し、関係機関と調整のうえ、必要であれば関係機関に提案し実現に向けての活動を行う。
2. 故・生頼範義氏の遺した作品の保存及び調査研究に関する事業（公1－②）
 - （1）生頼範義作品の調査研究（公1－②）

現在、故・生頼範義氏のアトリエに保管されているイラスト・及び絵画作品の詳細（制作年度、制作の目的、画材等）を調査し後世に遺していく資料として整備するための調査研究を行う。
 - （2）生頼作品保存のための施設設置の計画策定（公1－②）

前項の作品を保存、保管していくための関係機関と調整し実現に向けての活動を行う。
 - （3）上記（1）（2）を達成するため、広く賛助会員及び寄付を募るための

広報を行う。

3. 若手アーティスト育成のための支援に関する事業（公2）

（1）第2回「生頼範義賞」の公募事業（公2-①）

芸術文化のさらなる普及を目指し、第3回「生頼範義賞」し、受賞者発表会等を開催し若手アーティストとイラスト分野における産業との幅広い連携を図る契機とする。2022年11月に授賞式を予定。

（2）若手アーティスト育成の場となるよう他団体(出版者、NPO等)との連携により、将来のイラストレーター、画家を目指す人材の育成に関わる課題と取り組みについて学習会、意見交換会等を開催する。（公3）

〈その他事業〉

4. 関連商品の製作・販売の企画立案（収1）

（1）複製原画等の製作・販売に関する事業（収1）

公益事業を展開するための事業費を捻出するため、生頼家の許諾を得て生頼氏の作品の中からセレクトしたものから図録・複製原画等を作製し販売する企画を立案する。

なお本収益事業で得た利益の50%は公益事業の事業費として充当する。

第四号議案

令和4年度(2022年度)収支予算書
2022年4月1日 ~ 2023年3月31日
一般社団法人生頼範義記念みやざき文化推進協会

(単位:円)

	公益目的 事業会計	法人会計	令和4年度 (予算)	令和3年度 (実績)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1	合計
					公1	公2	公3	共通		
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
① 基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0							0
② 特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0							0
③ 受取会費	300000	0	300000	0	0	0	0	300000	0	300000
正会員受取会費			0					300000		0
賛助会員受取会費	300000		300000							300000
名誉会員受取会費			0							0
④ 事業収益	1150000	0	1150000	233389	500000	300000	50000	100000	300000	1450000
(公1) 博物館事業	800000		800000		500000			100000		800000
(公2) 表彰事業	300000		300000			300000				300000
(公3) 学習会開催事業	50000		50000				50000			50000
収益事業			0	233389					300000	300000
			0							0
			0							0
			0							0
			0							0
⑤ 受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0							0
⑥ 受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0							0
⑦ 受取寄付金	0	0	0	2500000	0	0	0	0	0	0
			0	2500000						0
⑧ 雑収入	0	30	30	52	30	0	0	0	0	30
雑収入			0							0
受取利息		30	30	52	30					30
			0							0
経常収益計	1450000	30	1450030	2733441	500030	300000	50000	400000	300000	1750030

(単位:円)

	公益目的 事業会計	法人会計	令和4年度 (予算)	令和3年度 (実績)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1	合計
					公1	公2	公3	共通		
(2)経常費用										
事業費	1231000	30000	1261000	1211648	202338	919790	0	89520	0	1261000
仕入	460000	0	460000	460000		460,000				460000
人件費			0	0						0
福利厚生費		30000	30000	29000				29,000		30000
広告宣伝費			0	0						0
運賃	100000		100000	105630	73,890	31,740				100000
旅費交通費	230000		230000	215700	115,080	100,620				230000
交際費	30000		30000	39904	12,670	27,234				30000
車両費			0	0						0
通信費	10000		10000	3110		3,110				10000
消耗品費	50000		50000	52816		52,816				50000
印刷製本費	75000		75000	72815		72,815				75000
事務用消耗品費			0	0						0
諸謝金	180000		180000	171455		171,455				180000
支払手数料	8000		8000	7520				7,520		8000
新聞図書費	5000		5000	698	698					5000
広告宣伝費			0	0						0
租税公課			0	0						0
外注費	53000		53000	53000				53,000		53000
資料購入費	30000		30000	0						30000
雑費			0	0						0
			0							0
			0							0
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
役員報酬			0							0
給与手当			0							0
臨時雇賃金			0							0
退職給付費用			0							0
			0							0
経常費用計	1231000	30000	1261000	1211648	202338	919790	0	89520	0	1261000

	公益目的 事業会計	法人会計	令和4年度 (予算)	令和3年度 (実績)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業1	合計
					公1	公2	公3	共通		
評価損益等調整前当期経常増減額	219000	-29970	189030	1521793	297692	-619790	50000	310480	300000	489030
基本財産評価損益等										0
特定資産評価損益等										0
投資有価証券評価損益等										0
評価損益等計										0
当期経常増減額	219000	-29970	189030	1521793	297692	-619790	50000	310480	300000	489030
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
固定資産売却益			0							0
雑収入			0							0
受取利息			0							0
			0							0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
固定資産売却損			0							0
			0							0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	219000	-29970	189030	1521793	297692	-619790	50000	310480	300000	489030
法人税・住民税・事業税			0	108700				0	0	0
当期一般正味財産増減額	219000	-29970	189030	1413093	297692	-619790	50000	310480	300000	489030
一般正味財産期首残高			4678554	3156761						
一般正味財産期末残高			4867584	4678554						
Ⅱ 指定正味財産増減の部										
受取補助金等										
一般正味財産への振替額										
当期指定財産増減額			0	0						
指定正味財産期首額			0	0						
指定正味財産期末額			0	0						
Ⅲ 正味財産期末残高			4867584	4678554						